

27. 5. 27

渋谷区長就任記者会見次第

- 日 時 平成 27 年 5 月 27 日 (水) 午後 2 時から
- 会 場 区役所前駐車場地下 1 階 A 会議室
- 出席者 区長、副区長、総務部長、企画部長、広報課長

【次 第】

- 14 : 00 開会
- 14 : 03 区長挨拶及び区政に関わる基本的な考え方の説明
- 14 : 20 質疑応答
- 14 : 45 閉会

事業名	男女平等及び多様性を尊重する社会の推進
特記事項	「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の施行
予算額	190 万円

事業目的	<p>条例に基づき、区、区民及び事業者が、それぞれの責務を果たし、協働して男女の別を超えて多様な個人を尊重しあう社会の実現を図る。</p>
事業概要	<p>【「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の施行】</p> <p>本条例では、多様な個性を尊重しあう社会を実現するため、男女と性的少数者の人権の尊重、区、区民、事業者の各責務を規定するとともに、男女平等社会の実現及び性的少数者に対する支援等の施策を推進することを規定している。</p> <p>【性的少数者に対する支援】</p> <p>性的少数者は、自分で選ぶことのできない性的指向や性自認等のために、教育、労働、医療、地域社会等において、様々な困難に直面している。こうした困難に対応するため、子ども達に対する支援を始めとして、性の多様性について社会的理解を図るための講演会等の実施や、当事者や周囲の人からの相談を受ける体制等を整備する。</p> <p>【パートナーシップ証明】</p> <p>性的少数者への支援の一つとして、同性パートナーが男女の婚姻関係と異ならない程度の実質を備える社会生活関係である場合に、区がパートナーシップ証明を行う。</p> <p>パートナーシップ証明の発行時期については、今後、有識者や当事者等の意見を聴きながら詳細を整理し、条例施行から 1 年を超えない期間に運用を開始する。</p> <p>【男女平等・多様性社会推進行動計画の策定】</p> <p>本条例を総合的かつ計画的に推進するため、行動計画を策定する。</p>

所管課	担当 総務部男女平等・ダイバーシティ推進担当課長 篠原 ☎3464-3395
-----	--

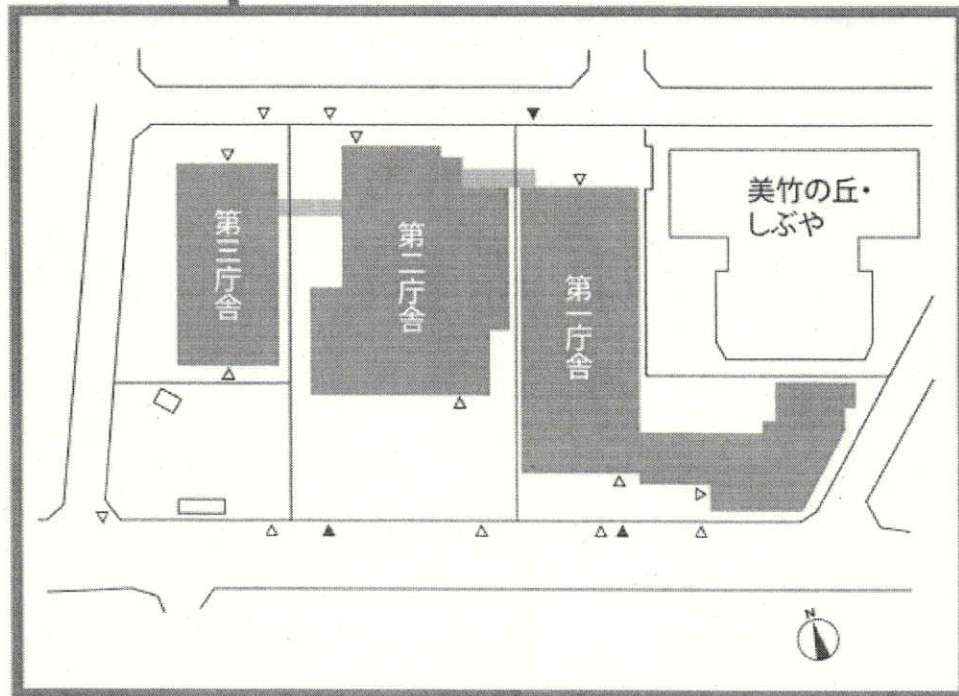
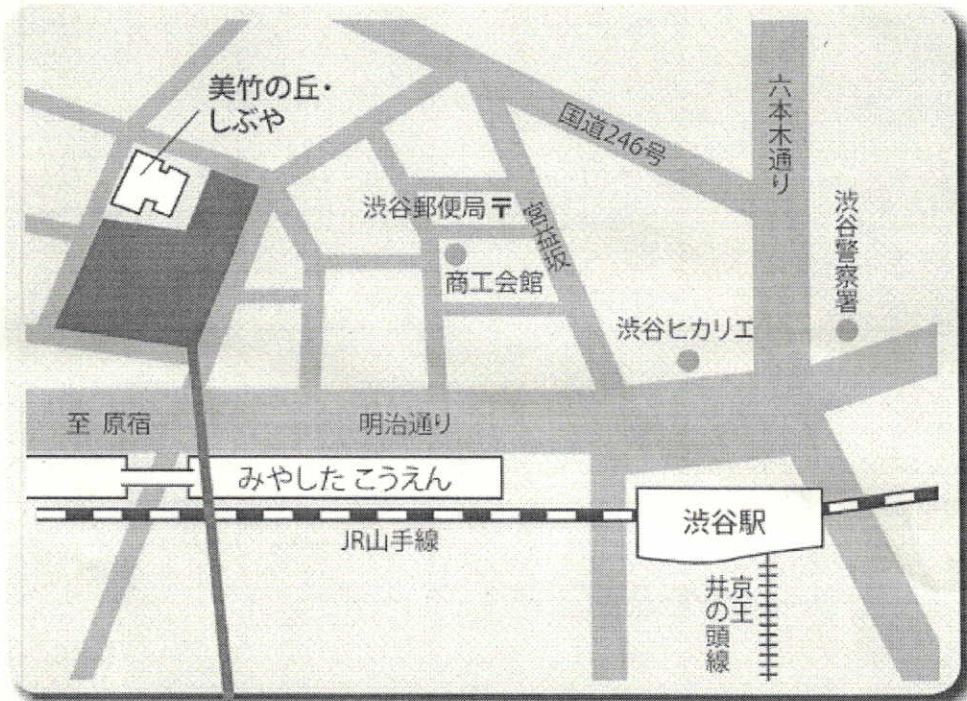
事業名	総合庁舎等建替え ～仮設庁舎の整備・移転～
特記事項	庁舎の建替期間中に業務を行う仮設庁舎を整備する。
予算額	15 億 7,600 万円

事業目的	<p>渋谷区総合庁舎、渋谷公会堂は、昭和 39 年に建設され、構造・設備の老朽化が進み、耐震性に不足があるため、現敷地において建替えることとした。</p> <p>建替方法は、定期借地権を設定し、その対価として、民間事業者が新庁舎と新公会堂を整備する。</p> <p>建替期間中、区民サービスの利便性を確保し、庁舎機能を分散しないよう、現敷地からあまり離れていない「美竹の丘・しぶやの一部」「旧東京都児童会館跡地」「区立美竹公園の一部」に仮設庁舎を整備する。</p>	
事業概要	<p>【スケジュール】</p> <p>(予定)</p> <p>平成 26 年 3 月基本協定締結</p> <p>↓</p> <p>平成 26 年 4 月設計開始</p> <p>↓</p> <p>平成 27 年 11 月工事着工</p> <p>↓</p> <p>平成 30 年度 竣工</p>	<p>仮設庁舎</p> <p>◎建設地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美竹の丘・しぶやの一部 ・旧東京都児童会館跡地 ・区立美竹公園の一部 <p>平成 26 年 7 月工事着工</p> <p>↓</p> <p>平成 27 年 10 月移転</p> <p>↓</p> <p>平成 27 年 10 月業務開始</p>
関連資料	仮設庁舎整備事業 仮設庁舎案内図・配置図	

所管課	総務部庁舎建設室 / 担当 総務部庁舎建設室長 杉浦 ☎3463-2990
-----	---------------------------------------

仮設庁舎整備事業

■ 仮設庁舎案内図・配置図



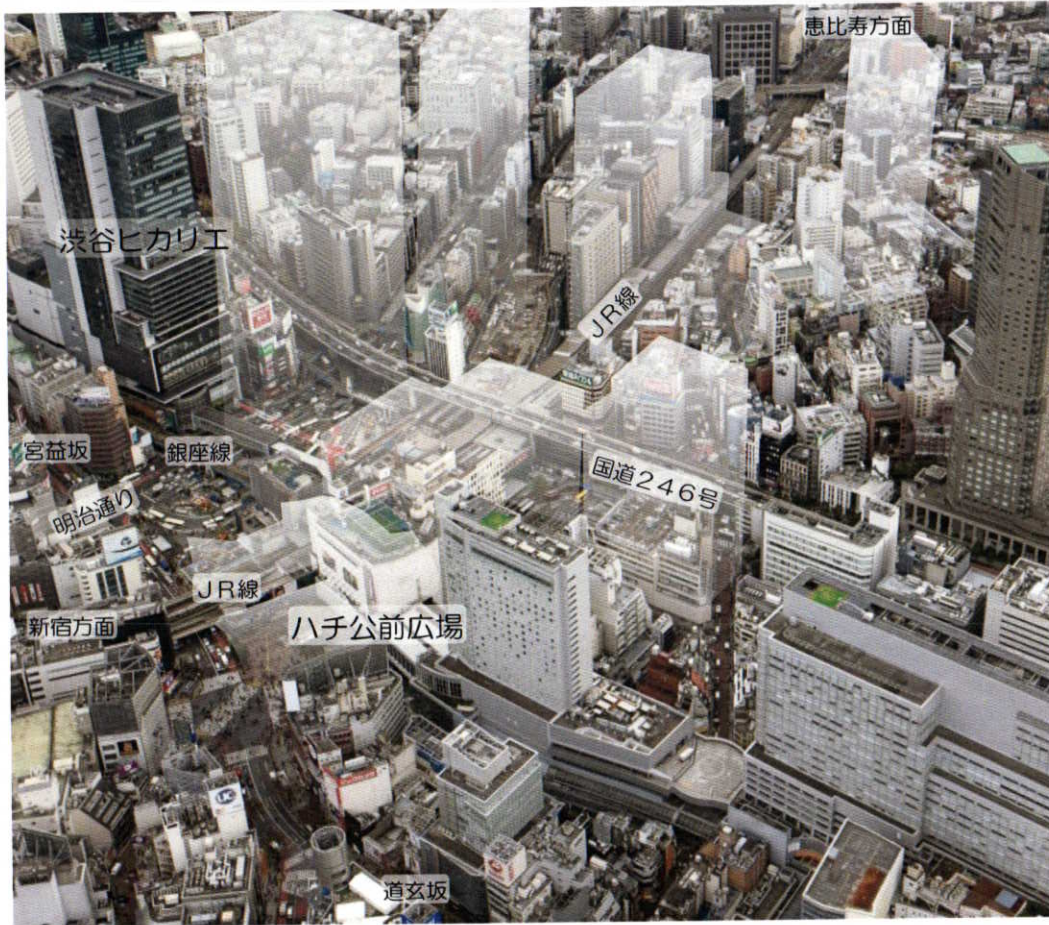
事業名	渋谷駅周辺のまちづくり ～ 住みやすい、新しい街、渋谷区へ ～
特記事項	渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010、渋谷駅中心地区基盤整備方針等による渋谷駅周辺のまちづくり
予算額	未定

事業目的	<p>【住みやすい、新しい街、渋谷区へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代による先進的な生活文化等の世界に開かれた情報発信拠点を形成 ・ 駅施設の機能更新と再編を契機に、周辺地域での街区再編および地区計画など総合的なまちづくりを推進し、にぎわいと回遊性のある、災害に強く、安全・安心で歩いて楽しいまちとするための都市基盤を整備 ・ 都市の防災機能、国際競争力を強化し、国際的な観光文化都市渋谷の実現
事業概要	<p>官民連携のもとに、渋谷駅の機能更新と再編・拡充及び駅ビルの再開発を一体的に行うことにより、限られた空間に多様な機能を集積し、安全で快適な都市空間を創出する。</p> <p>また、国道246号南側のまちづくりにおいては、南口北側自由通路の整備により、JR線によるまちの分断の解消を図り、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。</p> <p>【官民連携の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋谷駅中心地区の将来像について、積極的な情報発信を行う ・ インフォボックスの設置、都市模型や VR を活用しての情報発信 ・ シンポジウムの開催 ・ 国内外のクリエイティブ・コンテンツ産業の進出支援、人材の育成、交流支援 <p>【竣工予定スケジュール】</p> <p>平成 30 年度 (2018 年度) 道玄坂一丁目駅前地区、渋谷駅南街区 平成 31 年度 (2019 年度) 渋谷駅街区 東棟 平成 32 年度 (2020 年度) 南口北側自由通路 平成 32 年度 (2020 年度) 渋谷駅桜丘口地区 平成 39 年度 (2027 年度) 渋谷駅街区 中央棟、西棟</p>
関連資料	渋谷駅中心地区の将来整備イメージ

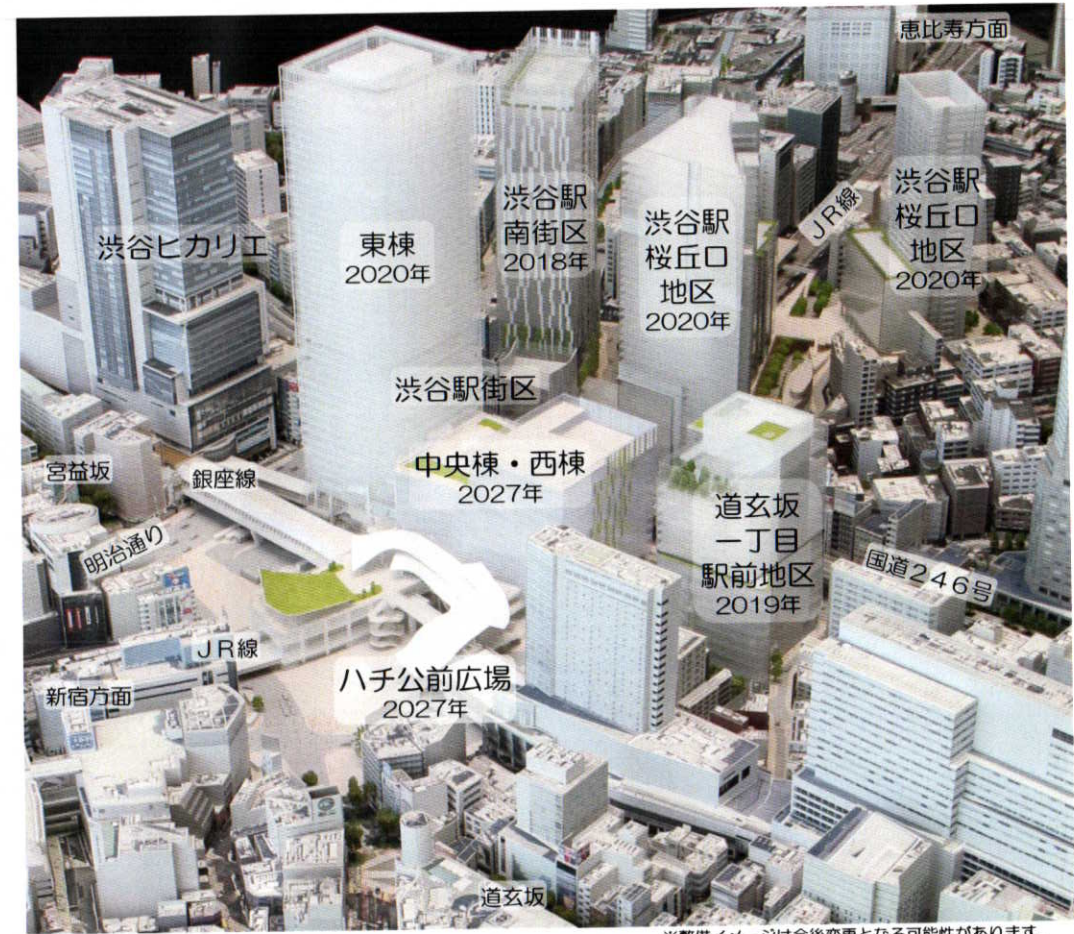
所管課	都市整備部渋谷駅周辺整備課 / 都市整備部渋谷駅周辺整備課長 奥野 ☎3463-3089
-----	--

『渋谷駅中心地区の将来像』

Vision of the future plan around Shibuya Station



2015年時点 渋谷駅中心地区の状況
(航空写真)



※整備イメージは今後変更となる可能性があります。

2027年頃 渋谷駅中心地区の整備イメージ
(模型写真)

事業名	新宮下公園等整備事業
特記事項	「国際文化観光都市・渋谷」に相応しい魅力的な新宮下公園の整備事業を「①安全で安心なまちの実現、②高い情報発信力と継続的な発展、③渋谷らしさの強化」の視点から地域や企業との連携協力により進める。
予算額	583 万円

事業目的	「渋谷駅中心地区まちづくり指針 2010」等の上位方針を踏まえ、老朽化した既存施設(公園・駐車場)の建替えにより、「緑と水の空間軸」の形成や駅周辺の再開発との整合、周辺地区のにぎわい創出等、地域課題の対応とともに宮下公園及び渋谷駐車場の耐震性能の向上を図る。
事業概要	<p>1. 概要</p> <p>事業の実施に際しては、PPP 事業を基本として民間のノウハウや資金を活用する。また、2020 年、東京オリンピック・パラリンピックの前年に開催されるラグビーワールドカップに整備が間に合うよう、宮下公園と渋谷駐車場の一体的な整備を行うものである。</p> <p>今後は、地元との調整を進め、まとめ次第、本事業の基本協定締結及び定期借地権の設定について区議会に上程する予定である。</p> <p>2. 今後のスケジュール</p> <p>平成 27 年度：都市計画変更手続き及び事業者による実施設計 平成 28 年度：都市計画決定、工事着手 平成 31 年度：工事完了（予定）</p>
関連資料	候補事業者の提案イメージ図

所管課	土木清掃部緑と水・公園課 / 担当 土木清掃部緑と水・公園課長 吉武 ☎3463-2874
-----	---

【宮下公園等整備事業】イメージパース (1/2)

施設コンセプト

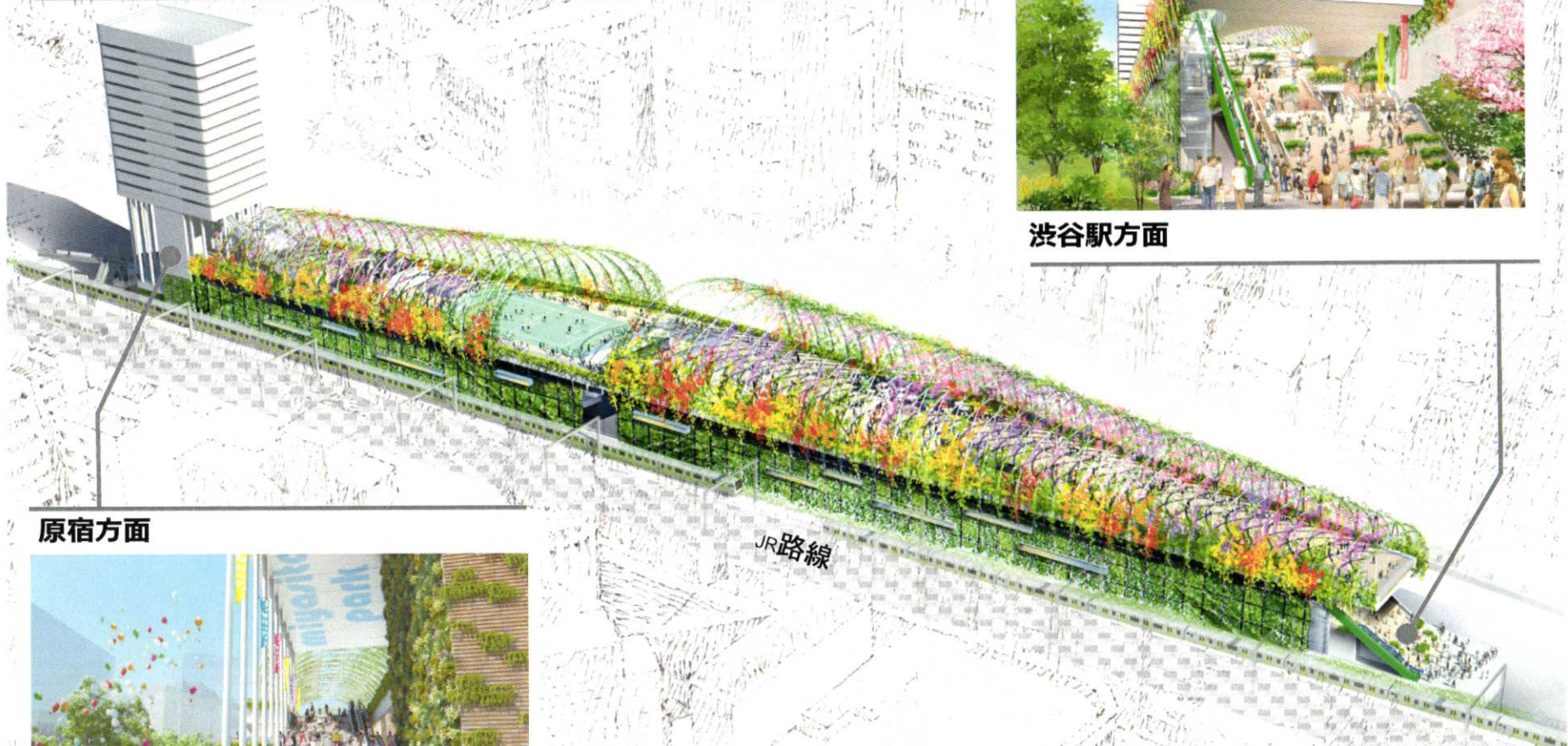
- ・ 渋谷らしい「発信力を持った公園」として、新たなトレンドおよびライフスタイルの発信拠点を実現します
- ・ 渋谷エリアを繋ぐ活性化のハブとして、歩行者および緑のネットワークを形成し地域に貢献します

施設概要

- ・ 新宮下公園 (施設屋上部分)
- ・ 駐車場 (現状の都市計画台数(243台)以上)
- ・ 民間施設 (商業施設(3階建)、宿泊施設)



渋谷駅方面



原宿方面



※プロポーザル提案時のイメージパースであり、今後の検討により変更になる可能性があります。

【宮下公園等整備事業】イメージパース (2/2)

南側 (渋谷方面)

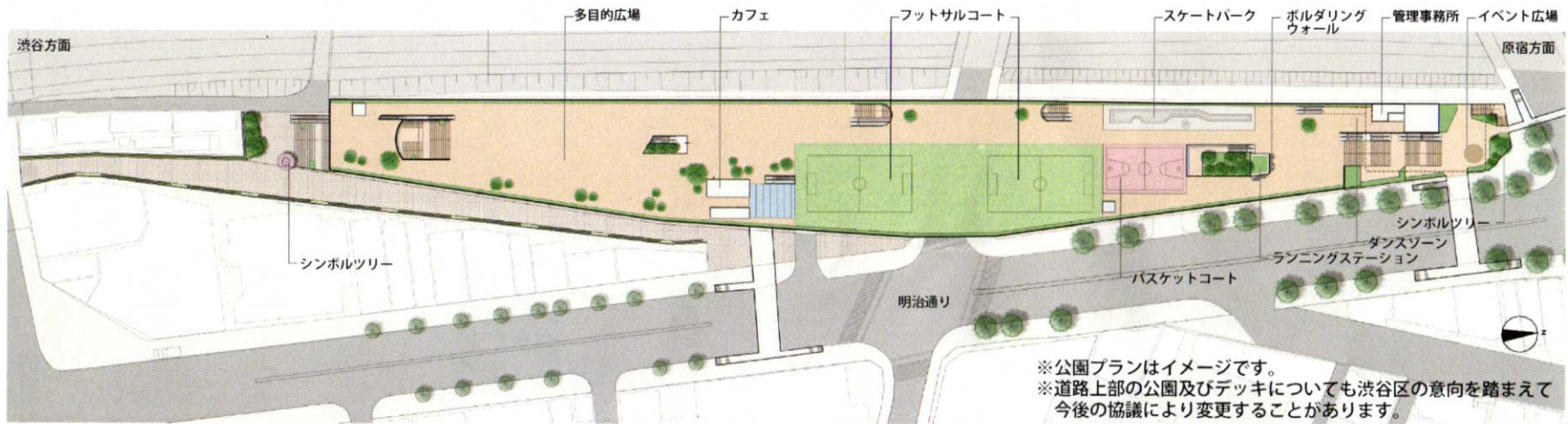


※多目的広場イメージ

北側 (原宿方面)



※運動施設イメージ



※公園プランはイメージです。
 ※道路上部の公園及びデッキについても渋谷区の意向を踏まえて今後の協議により変更することがあります。